

2025年7月17日
豪州経済りそなホールディングス 市場企画部
渋谷 和樹

日米欧 Market View:25年7月豪州概況

次回8月会合は利下げが既定路線も、その後の利下げペースが焦点か

要約

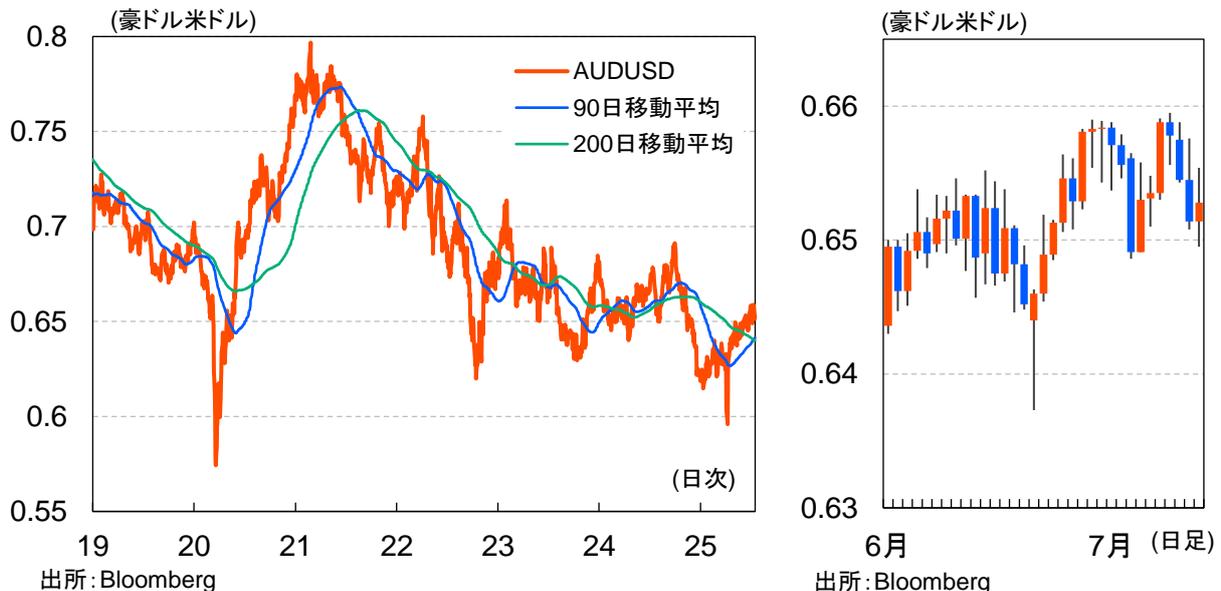
- 6月の豪ドルは対ドル・対円ともに前月末比やや上昇した。
- 対ドルでは25年末にかけて現状(1豪ドル0.65ドル)程度で推移しそうだ。豪中銀は8月に追加利下げをしようが、雇用の軟化兆候を受けてその後の利下げペースを早めるかが焦点となろう。
- 対円では日本国内での財政拡張観測などから短期的には円買いは限定的となろう。関税に対する懸念が払しょくできれば再度日銀の利上げ観測が高まって、中長期的には上値が限られてこよう。

【為替】

豪ドルは対ドル、対円ともにやや上昇

6月の豪ドルは対ドル・対円ともに前月末比やや上昇した(図表1,2)。イスラエルがイランに攻撃を実行するなど中東情勢に対する懸念が高まった局面では上値重く推移したものの、両者の停戦合意を受けて地政学リスクが後退すると、米国と各国との関税交渉が進展するとの期待感も相まって、特に対ドルでは豪ドルの買い戻しが進み、一時1豪ドル0.66米ドルに接近する水準をつけた。対円はリスク回避の円買いから一時1豪ドル92円台をつける場面もあったが、月末にかけては1豪ドル94円前後のレンジでの推移となった。

【図表1:豪ドル米ドルの推移(左:直近5年間、右:直近1ヵ月)】

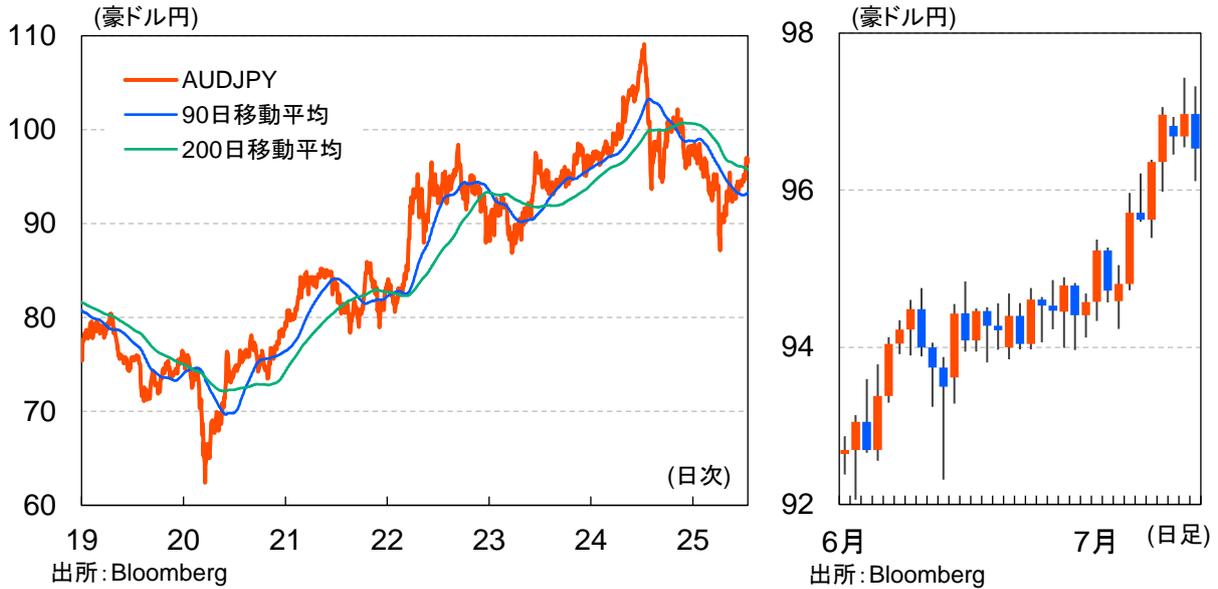


◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

【図表 2: 豪ドル円の推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 ヶ月)】

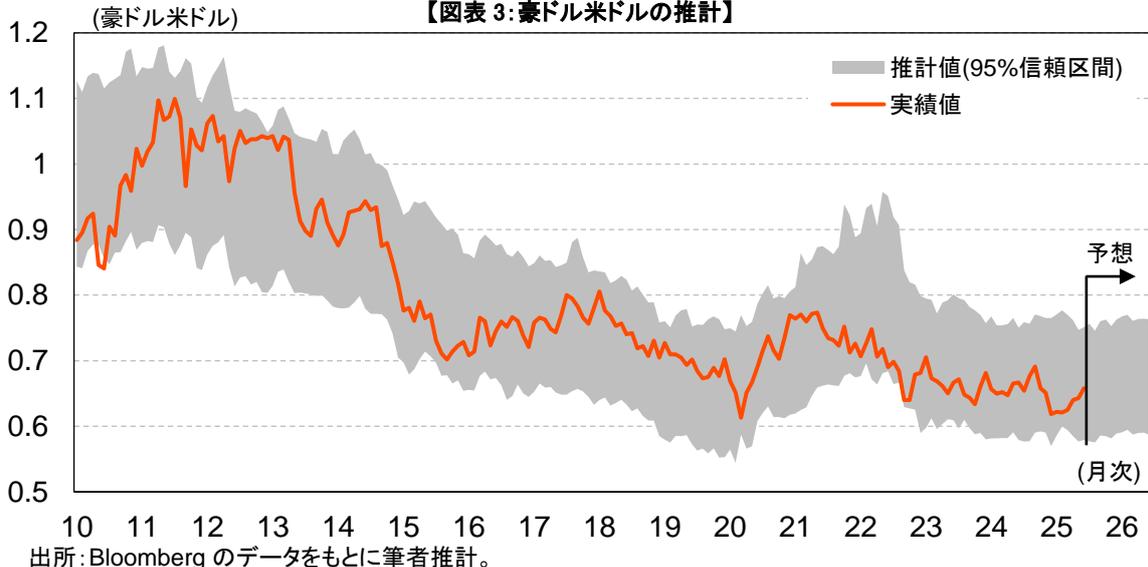


雇用軟化の兆候を受け、豪中銀がハト派転換するかが焦点

7月以降の豪ドルは、対米ドルは25年末にかけて概ね現状程度の水準で推移しそうだ(図表 3,4)。今月は8日の豪中銀会合において、市場が25bpsの利下げを織り込むなか、政策金利の据え置きを決定するというサプライズを受けて一時豪ドルが上昇した。その後、弱い雇用統計を受けて再び先行きの利下げ織り込みが進んでいるが、豪中銀が8月会合での利下げ後も慎重に利下げを進める姿勢を維持するかどうか焦点となろう。また、依然先行き不透明感が強いなか、実質1か月延長された米国との関税交渉期限に向けて各国がどのような合意に至るのかについても引き続き注視が必要だろう。

対円は、米国の関税政策に対する過度な懸念が一服した今、日本国内の財政拡張観測などが材料視されて、短期的には円買いは限られるか。一方で市場が不安定な状態を脱すれば来年にかけては日銀の利上げ観測が再び高まりをみせると考えられることから、中長期的に豪ドル円の上値は限られてこよう。

【図表 3: 豪ドル米ドルの推計】



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

【図表 4: 豪ドルの為替見通し】

		7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
豪ドル 米ドル	レンジ	0.60-0.68	0.60-0.68	0.62-0.70	0.62-0.70
	期末値	0.64	0.64	0.66	0.66
豪ドル 円	レンジ	88-100	88-100	90-102	93-105
	期末値	94	94	96	99

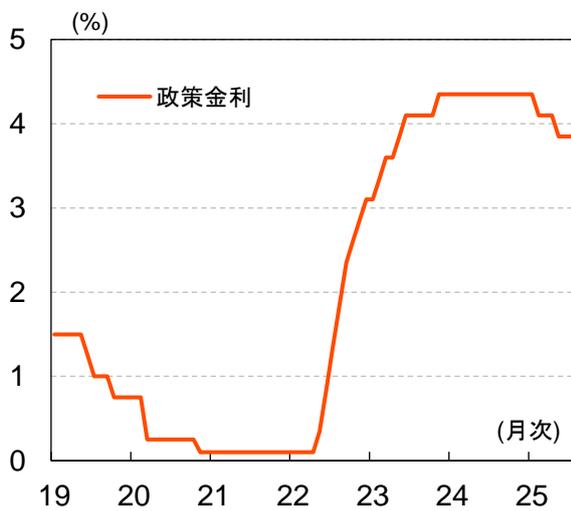
出所:りそなホールディングス

【金融政策】

7月会合では政策金利据え置き

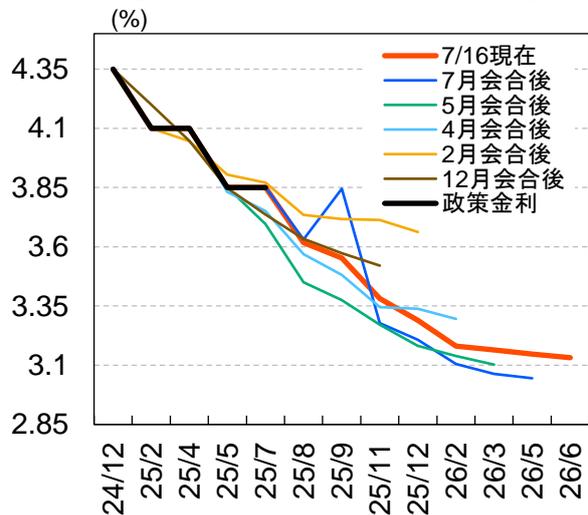
豪中銀は7月8日の政策決定会合で、政策金利を3.85%と、利下げを予想していた市場予想に反して据え置きを決定した(図表5)。声明では「インフレ率は僅かに予想よりも上振れて推移している」「労働市場は依然として逼迫している」とし、「インフレ率が持続的に目標に沿った動きとなることを確認するために、もう少し(政策の変更を)待つことができる」と、慎重に政策判断を進める姿勢を示した。今会合を受け、金利先物市場では、会合前に見込まれていた年内3回の利下げ観測が後退した(図表6)。筆者は、景気の大きな下振れやインフレの下方リスク顕現などが無い限り、3%程度のターミナルレートを想定した、四半期に一回程度の緩やかな利下げペースとなる予想を維持する。

【図表 5: 豪中銀政策金利】



出所: Bloomberg

【図表 6: OIS 市場の政策金利織り込み】



出所: Bloomberg

(会合)

【景気】

物価・消費:物価の基調は目標レンジ内で推移

6月25日に公表された5月CPI総合指数は前年比2.1%、コア指標として豪中銀が重視するトリム平均値は前年比2.4%だった。総合指数や、基調的な物価上昇率を示すトリム平均値はともに物価目標のレンジであ

◎注意事項

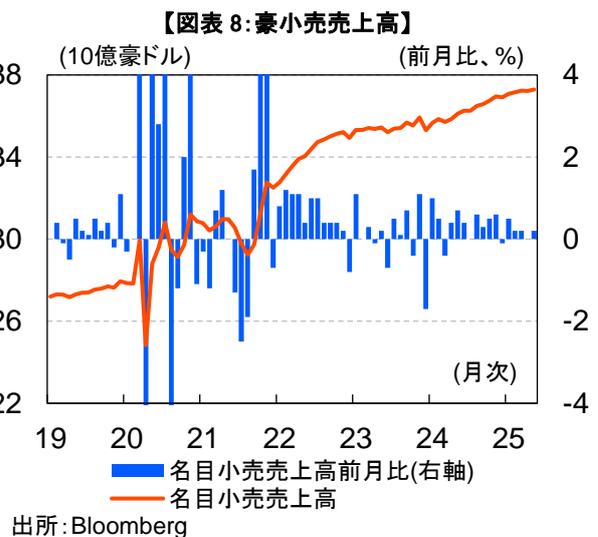
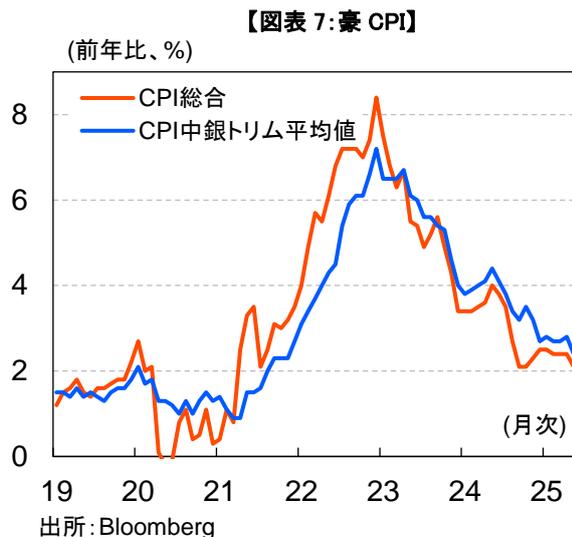
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



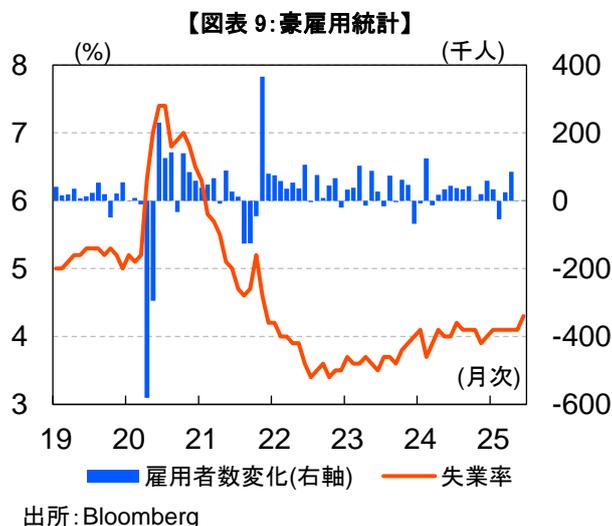
る2~3%の間で推移している(図表7)。市場予想(前年比2.4%)を下振れた結果となり、4月の長期休暇を受けて伸びが高まっていた観光・旅行・宿泊関係が、反動から伸びが大きく減速したなどが寄与したとみられる。今年後半には電気代抑制政策実施から1年経過することで、裏が出る形で一時的に総合インフレが再加速する可能性がある。

7月2日公表の5月小売売上高は、前月比0.2%と市場予想(同0.5%)を下回った(図表8)。前月に大幅減となった衣料等は高い伸びとなった一方、食料や日用品が伸び悩んだ。消費者が先行き不透明感を受けて貯蓄を優先する慎重姿勢を反映しているとみられるほか、同月にニューサウスウェールズ州を襲った大規模な洪水被害も影響を及ぼしている可能性がある。



雇用: 雇用者は予想下振れで小幅増、失業率は悪化

7月17日に公表された6月の雇用統計は、前月からの雇用者数変化が+2千人(市場予想:+20千人)、失業率が4.3%(市場予想:4.1%)と、雇用者数の伸びは市場予想2ヵ月連続で下回ったほか、失業率が0.2%pt上昇した(図表9)。内訳をみると、正規労働者の減少が大きくなったことが要因であり、全体的に弱い結果であったと評価できる。同様の弱い結果が継続すれば、労働市場の緩和の兆候を示唆していると捉えられよう。



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



■バックナンバー(直近発行レポート 50 本)

No	発行日	テーマ	タイトル
185	2025/4/11	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025年4月)
186	2025/4/11	米国経済	3月米CPI
187	2025/4/15	米国経済, 日本株, 米国株	トランプ関税の影響整理と株価見通し 3
188	2025/4/15	コモディティ	25年3月WTI原油先物価格
189	2025/4/17	豪州経済	25年4月豪州概況
190	2025/4/18	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
191	2025/4/18	日本株	日本株需給(4月7日~4月11日)
192	2025/4/22	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025年4月)-特別号
193	2025/4/25	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給(4月14日~4月18日)
194	2025/5/1	日本株	日本株4月セクター動向と5月見通し
195	2025/5/1	欧州経済	25年第1四半期ユーロ圏GDP統計
196	2025/5/7	欧州経済	25年4月ユーロ圏物価動向
197	2025/5/7	日本株	日本株需給(4月21日~4月25日)
198	2025/5/7	米国経済, 米国株	4月ISM製造業景況感指数
199	2025/5/7	米国経済	4月雇用統計
200	2025/5/8	米国経済	5月FOMC
201	2025/5/13	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025年5月)
202	2025/5/13	日本株	日本株需給(4月28日~5月2日)
203	2025/5/13	米国経済, 日本株, 米国株	トランプ関税の影響整理と株価見通し 4
204	2025/5/14	米国経済	4月米CPI
205	2025/5/16	日本株	日本株需給(5月7日~5月9日)
206	2025/5/20	豪州経済	25年5月豪州概況
207	2025/5/23	日本株	日本株需給(5月12日~5月16日)
208	2025/5/26	欧州経済	25年第1四半期ユーロ圏賃金動向
209	2025/5/28	コモディティ	25年4・5月WTI原油先物価格
210	2025/5/29	米国株, 日本株	エヌビディアの決算とマーケットへの影響 FY2026 1Q
211	2025/5/30	日本株	日本株需給(5月19日~5月23日)
212	2025/6/3	日本株	日本株5月セクター動向と6月見通し
213	2025/6/3	米国経済	5月ISM製造業景況感指数
214	2025/6/4	欧州経済	25年5月ユーロ圏物価動向
215	2025/6/5	米国株	米国株5月レビューと6月見通し
216	2025/6/6	日本株	日本株需給(5月26日~5月30日)
217	2025/6/6	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
218	2025/6/10	米国経済	5月雇用統計
219	2025/6/13	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025年6月)
220	2025/6/13	日本株	日本株需給(6月2日~6月6日)
221	2025/6/13	米国経済	5月米CPI
222	2025/6/19	米国経済	6月FOMC
223	2025/6/19	豪州経済	25年6月豪州概況
224	2025/6/20	日本株	日本株需給(6月9日~6月13日)
225	2025/6/24	米国株, 日本株	ROE分解からみえる米ハイテク株の優位性
226	2025/6/26	コモディティ	25年5・6月WTI原油先物価格
227	2025/6/27	日本株	日本株需給(6月16日~6月20日)
228	2025/7/1	日本株	日本株6月セクター動向と7月見通し
229	2025/7/2	米国経済, 米国株	6月ISM製造業景況感指数と米国株見通し
230	2025/7/2	欧州経済	25年6月ユーロ圏物価動向
231	2025/7/4	米国経済	6月雇用統計
232	2025/7/4	日本株	日本株需給(6月23日~6月27日)
233	2025/7/11	日本株	日本株需給(6月30日~7月4日)
234	2025/7/16	米国経済	6月米CPI

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。